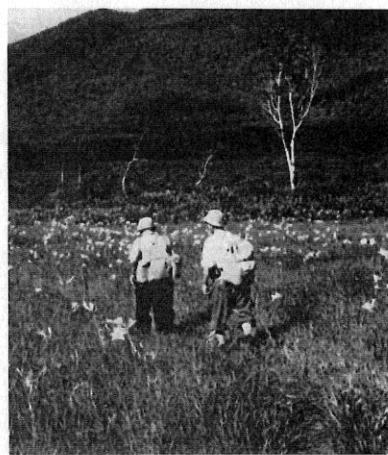


木道のない尾瀬ヶ原（昭和30年頃）
木道はなくとも人の踏み跡で道はできていた。しかし湿原は入り放題であつた。いまの木道はその踏み跡に計画もなく敷いたものである。入山者が多いとその木道から湿原に破壊が広がっていく。



昔の写真から

尾瀬の自然

第43号

昭和62年6月1日

交通網の整備が尾瀬の過剰利用に拍車をかけ、現在各所でいろいろな問題がおこっています。これらの問題点を指摘したものがこの診断マップです。今後の利用のあり方をみんなで考えてみよう。

尾瀬の自然を守る会

62年行事予定

- 6月 環境週間記念行事に参加
(尾瀬入山者への現地指導とアピール運動)
- 6月6~7日 研究観察会
「会津鬼怒川線利用の入山」(注1)
- 8月初旬 団体入山者への引率指導
(全国修学旅行研究協会ほか)
- 8月7~10日 第9回尾瀬自然保護指導員養成講座・現地研修(注2)
- 9月26~27日 研究観察会
「上毛高原駅からの入山と至仏山」
(注3)
- 10月下旬 第13回「尾瀬の夕べ」
(指導員養成講座・室内研修を兼ねる。)

◎例会(第一土曜日 p.m. 3:30~)

7月4日 講話「情報化社会と自然保護」

9月5日

10月3日

11月7日

いずれも場所は、農大一高生物教室内です。
どなたでもおいでください。

(注1) 申し込み、問い合わせは、河内輝明
(TEL.03-467-9226)まで。

(注2) 申し込み、問い合わせは、早川秀則
(TEL.0427-74-6520)まで。

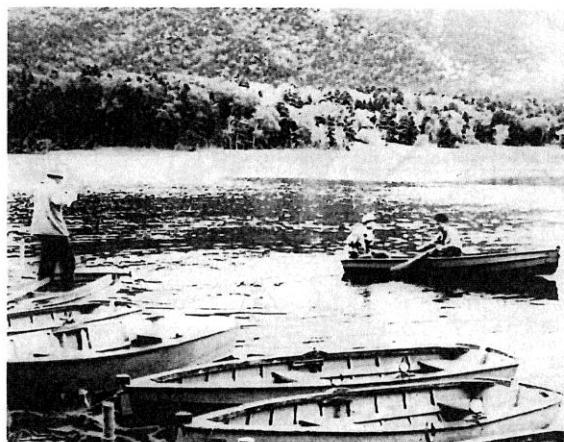
(注3) 申し込み、問い合わせは、飯塚忠志
(TEL.0279-66-2513)まで。

昔の写真から



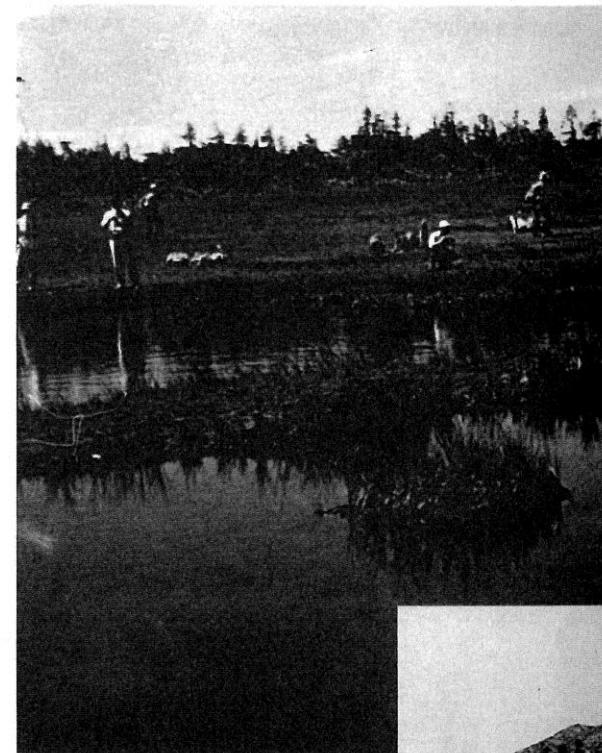
大江川での釣り(昭和初期)

尾瀬沼では、イワナの自然繁殖はいまでも見られる。誰が放したのかフナやヒゴイも泳いでいる。現在、釣りは禁じられてはいないが、特別保護地区内では不粋であろう。



尾瀬沼に浮かぶボート(昭和30年頃)

かつては、動力船の渡し船もあったが、自然保護の観点から廃止され、貸しボートも廃止された。



天上の楽園だった頃のアヤメ平

(昭和35年頃)

大きな池塘のまわりでハイカーが遊んでいる。バレー、ポールやホークダンスも行われた。浮き島に乗って遊ぶ人もいた。特別保護地区に指定しただけで、行政は無策だった。いまは湿原の復元が試みられているが、本当の回復には何百年?の歳月がかりそうだ。いまは至仏山でも同じことが起きている。





尾瀬Q&A

あなたの尾瀬理解度は、どのくらいなのでしょうか。

次の質問に答えてみてください。

Q1 尾瀬は、三つの県にまたがっています。
それは、?県と?県と、?県なのがな。

Q2 尾瀬沼の水は、北と南どちらに流れているのかな?
自然と人工とあるよ。

Q3 尾瀬に、ネズミはいると思う?
カラスは、いると思う?
尾瀬沼に錦鯉がいると思う?

Q4 尾瀬にはもともとなくて、人がふもとからもちこんだ植物を知っている?

Q5 いま尾瀬沼に繁殖して問題になっている帰化植物は、知っている?

Q6 特別保護地区って何という法律に決められているのかな?
特別天然記念物って何省の管轄かな?

Q7 尾瀬は、国立公園ですが、かなりの部分が私有地です。だれのかな?

Q8 尾瀬の花、何種類言えるかな?
10種類言えれば、あなたは尾瀬通だ。

入会の案内

尾瀬に一度来れば、尾瀬はもう忘れられない世界になります。

尾瀬を愛する皆さん、この美しい豊かな、そして貴重な自然を壊さずに、いつまでも残したいと思います。放っておくと、いつ開発の手が伸びるかわかりません。小さな力でも合わせれば大きな力となります。

「尾瀬の自然を守る会」は、日本における自然保護運動の発祥地である尾瀬において、自然保護を考え、学び、行動する市民の会です。ぜひ、仲間にお入りください。

1 会の活動

会報「尾瀬の自然」の発行、自然観察会
自然保護指導員養成講座、尾瀬のタベ等

2 入会の方法

年会費(1~12月)2,000円 (学生1,000円)
を、下記口座に振り込んでください。その際、住所・氏名・職業・連絡電話、新規・継続の別をご通知ください。

◎ 郵便振替・東京6-138023

「尾瀬の自然を守る会」

◎ 会計・松田 美代子

〒260 千葉市作草部864-503

TEL. 0472(51)9587

発行/尾瀬の自然を守る会

発行日/1987年6月1日

事務局/東京都世田谷区桜3-33-1

〒156 東京農業大学第一高等学校

生物教室内 TEL. 03(425)4481 内線43

尾瀬原・尾瀬沼の花ごよみ

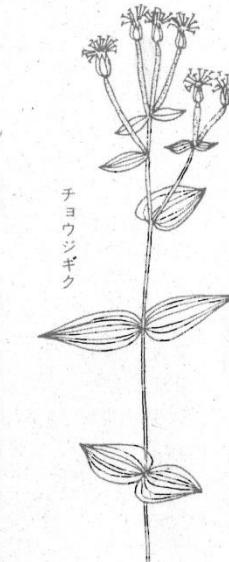
植物名	5月	6月	7月	8月	9月
ミズバショウ					
リュウキンカ					
ザゼンソウ					
ヒメシャクナゲ					
ワタスゲ					
ショウジョウバカマ					
タデヤマリンンドウ					
コツマトリソウ					
ミツガシワ					
チングルマ					
レンゲツツジ					
トキソウ					
ツルコケモモ					
ミツバオウレン					
ホロムイソウ					
イワイチョウ					
カキツバタ					
ヒオウギアヤメ					
オゼコウホネ					
ヒツジグサ					
イワショウブ					
コタヌキモ					
ニッコウキスゲ					
キンコウカ					
クロバナロウゲ					
ナガバノモウセンゴケ					
モウセンゴケ					
オゼスマアザミ					
ヤナギラン					
サワギキョウ					
コバギボウシ					
ミズギク					
ゴマナ					
チヨウジギク					
ヤマトリカブト					
ワレモコウ					
エゾリンドウ					



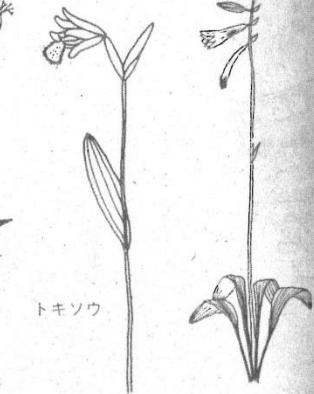
Watasuge
(実)



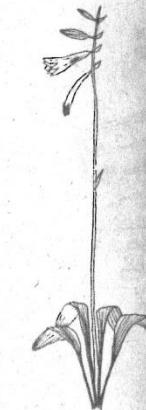
Tsurukoke Momomo



Chiyowajigiku



Tokisou



Kobagiboushi